

第5次行田市総合振興計画 まちづくり指標取組状況報告書

No.	88	指標名	小・中学校における不登校児童・生徒数	単位	人／年	5総振ページ	157
策定時 (小・中)	13	76					
H23年度末	14	88					
H24年度末	7	47					
H25年度末	9	34					
H26年度末	7	67					
H27年度末	13	69					
5年後目標値 (H27年度末)	10	70					
10年後目標値 (H32年度末)	5	50					
[凡例] 実績 —●— 5年後目標値 - - - □ 10年後目標 - . - . □							
中間評価結果	小学校	維持		10年後目標値・変更後 (※ H26又はH27年末で10 年後目標値を達成してい る場合のみ)	小学校		
	中学校	5年後目標値を達成			中学校		
前期(平成23年度～平成27年度)取組状況							
実施年度	実施内容						
H23～H27	スクールカウンセラーやさわやか相談員を中心とした相談体制の充実を図った。						
H23～H27	教育研修センターと連携を図り、不登校の予防や不登校児童・生徒の学校復帰に努める。						
H25～H27	子どもたちの学校生活における満足度と意欲, さらに学級集団の状態を調べる質問紙である「学級集団アセスメントhyper-QU」を実施することにより、不登校の予防につなげた。						
H27	「行田版 ケイタイ・スマホ 家庭の約束」を策定し、家庭において規則正しい生活を送るよう、家庭への啓発活動を行った。						
後期(平成28年度以降)の予定							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係諸機関と連携を図りながら、現在の取組を継続していく。</li> <li>・生徒指導や教育相談の研修を充実させ、教職員の指導力の向上に努める。</li> </ul>							
備 考							